

今週のお祈り 降臨節第3主日特待

主よ、み力を現してわたしたちのうちにお臨みください。わたしたちは罪に妨げられて、苦しんでいますので、豊かな恵みをもって速やかに助け、お救いください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外 178

発行日
2023年
12月17日

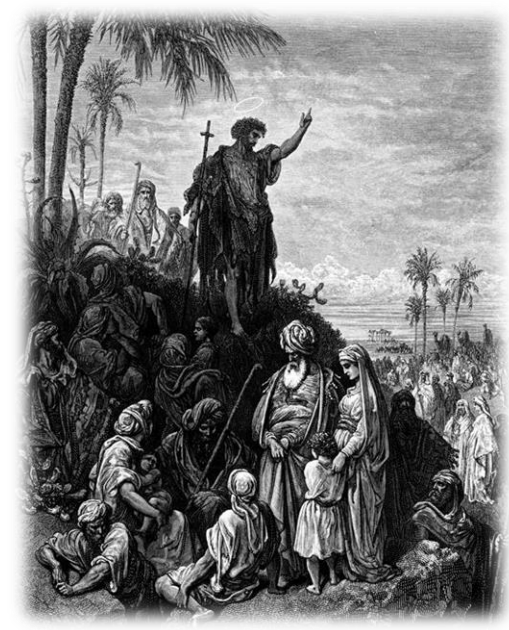
降臨節(アドベント)第3主日となりました。イエスさまのお誕生(クリスマス)に向けて準備を進めています。日曜学校では12/24(日)聖餐式でミュージックベルを奉演します。ミニクリスマス会もあるよ。みんな来てね!

今週の聖書 ヨハネによる福音書 1:6-8、19-28

6 一人の人が現れた。神から遣わされた者で、名をヨハネと言った。7 この人は証しのために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じる者となるためである。8 彼は光ではなく、光について証しをするために来た。19 さて、ヨハネの証しはこうである。ユダヤ人たちが、エルサレムから祭司やレビ人たちをヨハネのもとへ遣わして、「あなたはどなたですか」と尋ねさせたとき、20 彼は公言してはばからず、「私はメシアではない」と言った。21 彼らがまた、「では、何ですか。あなたはエリヤですか」と尋ねると、ヨハネは、「そうではない」と言った。さらに、「あなたは、あの預言者なのですか」と尋ねると、「違う」と答えた。22 そこで、彼らは言った。「誰なのですか。私たちが遣わした人々に返事ができるようにしてください。あなたは自分を何者だと言っているのですか。」23 ヨハネは言った。／「私は、預言者イザヤが言ったように／『主の道をまっすぐにせよ』と／荒野で叫ぶ者の声である。」24 遣わされた人たちはファリサイ派に属していた。25 彼らがヨハネに尋ねて、「あなたはメシアではなく、エリヤでも、またあの預言者でもないのに、なぜ、洗礼を授けるのですか」と言うと、26 ヨハネは答えた。「私は水で洗礼を授けているが、あなたがたの中に、あなたがたの知らない方が立っておられる。27 その人は私の後から来られる方で、私はその方の履物のひもを解く値打ちもない。」28 これは、ヨハネが洗礼を授けていたヨル

聖書からのメッセージ 執事 高柳 章江

洗礼者ヨハネはイエス様の母マリアの親類の子どもです。彼はイエス様の半年前に生まれました。大人になって、イエス様より先に、人々に自分の生き方を見直して神様とともに生きる生き方を勧めていました。人々はイエス様を知らなかったのので、洗礼者ヨハネのことを「救い主だ」とか「預言者だ」などと思いましたが、洗礼者ヨハネは自分の役割をちゃんと知っていました。それは、イエス様こそが救い主であること、もうまもなくイエス様が世の中に現れることを人々に知らせることでした。洗礼者ヨハネを尊敬する人はたくさんいたのですが、彼は偉そうにすることはなく、「人々に救い主を迎える準備をさせる」という自分に与えられた役割をきちんと果たしたのです。



ダン川の向こう側、ベタニアでの出来事であった。